

2023年度(令和5年度) 新体力テストの結果

生徒質問紙(第2学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	54	41	4	0
女子	58	29	10	3

保健体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	54	44	1	1
女子	57	38	5	0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	68	18	8	6
女子	62	17	15	7

体力・運動能力(第2学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
男子	29.31	24.76	42.68	47.49	76.16		8.09	197.87	18.00	38.25		女子	21.15	18.05	38.35	41.81	51.25		8.93	158.69	12.37	41.91

県平均値(R5)かつ全国平均値(R5)未滿

重点課題および要因

情意面

・運動やスポーツをすることはやや嫌い、嫌いと答えた生徒の割合は男子で4.3%で、女子は13.6%である。(前年比:男子2.9%↓ 女子6.7%↓)

体力面

・男子は「握力」、「立ち幅跳び」以外は、県平均値かつ全国平均値より低い。  
 ・女子は「20mシャトルラン」、「50m走」以外は、県平均値かつ全国平均値より低い。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

保健体育の授業で行う取組内容

- ・「握力」「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横跳び」→授業の導入部分で行う補強運動や体操を充実する。体操時に、二人一組で長座のストレッチをし、グーパー運動と腹筋を行う。そして、足の細かいステップやラダー等の用具を使用し、俊敏性を高める取り組みを行う。
- ・「ボール投げ」→「球技」の領域の授業で、キャッチボールを短時間設定し、投げる力を育む。
- ・「立ち幅跳び」→「陸上」の領域の授業導入部で、ケンケンバや三段跳び等の補強運動を取り入れる。
- ・「50m走」→「陸上」「球技」の領域の授業導入部で、20~30mの短ダッシュを取り入れる。

保健体育の授業以外で行う取組内容

- ・球技大会で、「ドッチボール大会」を行い、投げる動作が身に付くことや、逃げ回ることによって心拍数が高まり、体力が高まる2つの要素が身に付くことをねらいとする。

2024年度(R6年度)の重点目標値

- ・運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える生徒の割合を、男子は2%、女子は10%にする。
- ・男子と女子で6種目が県平均値かつ全国平均値未滿であったため、3種目を県平均値かつ全国平均値以上にする。